

診療情報を利用した臨床研究について

虎の門病院間脳下垂体外科、森山記念病院病理診断科、鳥取大学医学部附属病院脳神経外科では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた記録をまとめるものです。この研究では、亡くなられた方の診療情報も、貴重な情報として、研究対象として扱わせていただきます。この案内をお読みになり、ご自身やご家族等がこの研究の対象者にあたると思われる方の中で、ご質問がある場合、またはこの研究に「ご自身やご家族等が診療情報を使ってほしくない」とお思いになりましたら、遠慮なく下記の相談窓口までご連絡ください。

【対象となる方】

調査対象となる期間： 2004年12月1日 ～ 2025年7月31日の間に、転移性下垂体腫瘍のために各研究機関に入院し、内視鏡下経鼻的腫瘍摘出術を受けられた方

【研究課題名】

転移性下垂体腫瘍の臨床的特徴に関する研究

【研究の目的・背景】

転移性下垂体腫瘍は稀な疾患であり、以前は癌の終末期に出現し、下垂体へ転移を認めたとしても治療が困難でした。しかし、近年は分子標的薬や免疫チェックポイント阻害薬など治療薬の進歩によって様々な癌の予後が改善しています。それに伴い、下垂体転移に対しての最適な治療方針を改めて検討する必要性が出てきました。転移下垂体腫瘍に対しては外科治療も有効な手段ですが、その有効性はあまり検証されてきませんでした。本研究は転移性下垂体腫瘍に外科治療を行った患者さんの経過や検査結果などを検討することで、癌腫による相違点や予後に寄与する因子を明らかにすることを目的とします。

【研究期間】

2026年5月29日 ～ 2027年12月31日

【個人情報の取り扱い】

お名前、ご住所などの特定の個人を識別する情報につきましては特定の個人を識別することができないように個人と関わりのない番号等におきかえて研究します。学会や学術雑誌等で公表する際にも、個人が特定できないような形で発表します。

また、本研究に関わる記録・資料は鳥取大学において研究終了後5年間保管いたします。保管期間終了後、本研究に関わる記録・資料は個人が特定できない形で廃棄します。

【診療情報を虎の門病院外へ提供する場合】

診療情報は各研究機関において特定の個人を識別することができないように個人と関わり

のない番号等におきかえたうえで、虎の門病院間脳下垂体外科へ送付します。その後、虎の門病院から鳥取大学医学部附属病院脳神経外科へ e-mail にパスワードを施して提供いたします。

【利用する診療情報】

診療情報： 血液検査結果、画像所見、カルテ記載情報、手術記録、病理診断レポート

【研究代表者】

所属している施設名 虎の門病院

診療科名 間脳下垂体外科

氏名 西岡宏

【虎の門病院における研究責任者・研究機関の長】

研究責任者：間脳下垂体外科 西岡宏

研究機関の長：院長 門脇 孝

【利用する者の範囲】

虎の門病院 間脳下垂体外科 福原紀章

鳥取大学医学部附属病院 脳神経外科 黒崎雅道

森山記念病院 病理診断科 井下尚子

【研究の方法等に関する資料の閲覧について】

本研究の対象者のうち希望される方は、個人情報及び知的財産権の保護等に支障がない範囲内に限られますが、研究の方法の詳細に関する資料を閲覧することができます。

【ご質問がある場合及び診療情報の使用を希望しない場合】

本研究に関する質問、お問い合わせがある場合、またはご自身やご家族等の診療情報につき、開示または訂正のご希望がある場合には、下記相談窓口までご連絡ください。

また、ご自身やご家族等の診療情報が研究に使用されることについてご了承いただけない場合には研究対象といたしませんので、2026年10月31日までの間に下記の相談窓口までお申し出ください。この場合も診療など病院サービスにおいて患者の皆様には不利益が生じることはありません。

【相談窓口】

虎の門病院 間脳下垂体外科 福原紀章

電話 03-3588-1111(代表)

森山記念病院 病理診断科 井下尚子

電話 03-5679-1211(代表)

鳥取大学医学部附属病院 脳神経外科 小椋貴文
電話 0859-38-6762(脳神経外科外来)